

射水市図書館協議会 議事録

1 開催日時

平成30年6月27日(水) 午後1時30分～午後2時45分

2 会 場

射水市中央図書館 2階多目的会議室A・B

3 出席者

(委員) 8名(10名中) (事務局) 9名

4 会議次第

1. 開 会
2. 教育長挨拶
3. 委嘱状の交付
4. 委員紹介
5. 職員紹介
6. 会長の選出
7. 会長の挨拶
6. 協議事項 資料1～資料2
7. 質疑応答

《会議経緯》

(事務局)

平成29年度図書館事業概要について説明

(会 長)

平成29年度図書館事業概要のp1からp13までについてご質問はありませんか。

(委 員)

なし

(事務局)

平成30年度図書館事業(計画)について説明

(会 長)

平成30年度図書館事業(計画)についてご質問はありませんか。

(委 員)

図書館の図書購入費は、雑誌購入費も含んでいるものか。

(事務局)

図書購入費11,855千円は本の購入費であり、新聞や週刊誌等雑誌購入費は含まれていない。

(委員)

雑誌購入の予算はどのようになっているのか。

(事務局)

雑誌購入費は、図書購入費とは別に予算化しており、約2,700千円である。

(委員)

雑誌の種類が以前より少なくなっている気がするがどうか。

(事務局)

廃刊になった雑誌や予算の関係もあり現在の状況になっている。28年度から始めた雑誌スポンサー制度も活用していきたい。

(委員)

昨年度の予算と比較してどうであったか。

(事務局)

図書購入費及び雑誌購入費は昨年度と同額です。

(事務局)

子どもの読書生活充実プラン（第3次）について紹介

(会長)

全体を通して何かご質問ご意見はありませんか。

(委員)

家庭が読書に親しむ環境にない子どもさんの支援を学校の先生方をお願いしたい。

(会長)

学校現場からご意見等はありませんか。

(委員)

今年度は昨年度とは違って力を入れているとか、メインに頑張っていくとかいうものがあればお聞かせ願いたい。学校司書による働きかけがあると子どもたちの読書数が増えるように思う。そのなかでもブックトークは、子どもたちが本を読んでみようかなと思うことに結びついた。市全体で司書の資質を上げる研修の充実を図ってほしい。

(事務局)

少しでも多くの方々に図書館に来ていただけるよう、限られた予算内ではあるが、評判の良い本の購入や、時世に応じた企画展の実施に心がけるなど、内部で話し合っていきたい。

(事務局)

学校司書を対象とした研修は、昨年度実施したところである。学校司書の資質能力を高めていただくことは子どもたちの読書能力の向上につながることから、研修の内容等についても司書の方々のご意見をお聞きしながら検討していきたい。

(事務局)

学校司書を対象とした研修は、今年度は2回実施されると伺っている。1回目は7月に開催されるが、図書館司書の立場から研修の持ち方や学校司書との連携等に係る

話ができればと考えている。

(会 長)

司書教諭の立場からご意見等はありませんか。

(委 員)

小学校においても本を読む子と読まない子の差が激しく、学校司書の方と協力して図書室に足を運ばない子にも本に目を向けてもらうように工夫している。今後とも学校司書の方と連携を密にして子どもたちの読書に関わっていきたい。

(会 長)

他にご意見等はありませんか。

(委 員)

小学生の子どもを持つ親の立場からですが、学校の図書室には大変お世話になっている。本は書店で買うこともできるが、図書館や図書室のような充実した施設が身近にあるということ、親として子の世代へつなげていきたいと思っている。

(委 員)

スマホやパソコンの普及が貸出図書数の減少の一つの要因との説明があったが、スマホやパソコンを活用して本に親しむ機会を増やすこともできるのでないか。スマホやパソコンは自分が知らない違った分野へ案内してくれるので、学校や司書以外の第3のものも視野に入れると取っ掛かりやすい。また、お勧めの本があれば教えてあげるなど、子どもの背中を押すことによって読書の広がりが出てくるのではないかと思う。

(事務局)

取っ掛かりが大切であるということだが、今年も14歳の挑戦で中学生に図書館の仕事を体験してもらい、その中学生がお勧めする本を紹介展示した。同世代の方々が読んでみようかと思ってくれれば幸いである。今後も継続していきたいと考えている。

(委 員)

下村図書館が廃止になる危機感を持っている。下村図書館は児童館と併設して利用率も高い。下村地区は小さなところだが歴史と伝統文化があるところで、子どもたちは何でもよく知っているが、私たち大人も地域のことや色々なことを子どもたちに教えてやりたい。そのようなことから図書館は必要であり、下村図書館の現状維持をお願いしたい。

(事務局)

市の図書館は将来的には2館体制を考えているが、いつまでにとということについては明確ではない。市では毎年多くの予算を計上し本を購入しているが、大事なのは、購入した本がどれだけ活用されているのか、かけた予算に見合ったあるいは予算以上の働き・豊かさ・時間を産み出しているのかということだと思う。

(委 員)

下村地域は市の東部に位置しており、加えて児童館との併設もあることから本江やその近辺の方々の利用も多い。利用率も高いが数字だけで言っているのでなくそのあ

たりも考慮してほしい。

(会 長)

それはご意見ということで受け止めさせていただく。他にありませんか。

(委 員)

事業概要を見てたくさんの取組をしておられることと様々な年齢層の方々が利用されておられることがわかった。8～12歳の児童もよく本を借りていることも窺えた。その児童たちもやがて成長していくし、60歳以上の方も増えていくということであり、いろんなところで本は大事なものであると認識している。できれば14歳の挑戦でなくても、中学生の生徒さんに図書館で職場体験してもらうあるいは職場をみせてあげるのもよいのではないか。インターンシップは主に大学生を受け入れているのか。

(事務局)

主に大学生ですが、今年のように高校生も受け入れることもある。

(委 員)

司書を目指している学生が多いのか。

(事務局)

過去には司書資格を取得する方向性の学生が多かったが、近年は学校のカリキュラムの一つと申しますか職業体験の観点からのものとなっている。必ずしも司書だけを目指す方だけではないようである。

(委 員)

ぜひたくさんの生徒さんを受け入れていただきたい。高校では先生方に司書教諭の資格を取得するよう指導している。司書教諭がいると様々なところでうまくいくことが多い。そのような方々と連携を図りながら図書館が発展してくれたらと思う。

(会 長)

他にご意見等はありませんか。

(会 長)

ないようですので、以上で平成30年度第1回射水市図書館協議会を閉会いたします。ありがとうございました。